

授業概要

スポーツサービスを提供するスポーツ組織には、利益を上げることが目的とする組織とそうではない組織が存在する。この講義では、利益を上げることが目的とするスポーツ組織（スポーツ企業）の中でも特にプロスポーツに着目し、実際に触れながらその経営活動を学ぶことを目的として講義を実施する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション/スポーツマネジメントの基本
第 2 回	プロスポーツの法人格
第 3 回	プロスポーツのステイクホルダーとガバナンス
第 4 回	プロスポーツの財務
第 5 回	プロスポーツの選手・移籍・代理人
第 6 回	プロスポーツの組織
第 7 回	プロスポーツのマーケティング (1) 概要
第 8 回	プロスポーツのマーケティング (2) スポンサー
第 9 回	プロスポーツのマーケティング (3) 自治体・観客へのマーケティング
第 10 回	プロスポーツと法
第 11 回	プロスポーツと地域社会
第 12 回	まとめ
第 13 回	講義内試験
第 14 回	外部ゲスト講師による講義
第 15 回	試験の解説と総まとめ
第 16 回	レポートの提出

到達目標

本講義は、以下の 2 点を到達目標とする。

- (1) スポーツ企業の経営活動を、スポーツマネジメントに関する知識を用いて他者に説明できる。
- (2) スポーツ企業の経営活動を、スポーツマネジメントに関する知識を用いて他者と議論できる。

履修上の注意

・本講義は、スポーツに関する経営の中でもスポーツ企業に特化した内容を扱います。したがって、スポーツに関する経営について基本的な内容を扱う「スポーツマネジメント論」を履修してから、この講義を履修するようにしてください。（それとは別に「スポーツマーケティング論」を履修していると、この講義の理解がより進みます。）

・本講義は、参考文献を購入しなくても講義内で配布する資料のみで皆さんの学習が進むように設計します。一方で、講義を受ける中で気になった内容があった場合や、発展的な内容を学びたいと思った場合は、松原まで連絡をください。その内容が学べる文献の紹介をします。皆さんの積極的な学びを期待しています。

予習・復習

本講義では特に予習を設定しません。しかし、スポーツ企業に関する経営については、日々新しい出来事が起きます。したがって、講義の復習として、利益を上げることが目的としているスポーツ企業に関連するニュースを常にチェックし、講義で学んだ内容がどのように適応されるのかを、講義内で配布される資料と照らし合わせながらよく検討してください。

評価方法

毎回の小レポートおよび講義内試験によって以下の通り 100 点満点で評価します。

- ・小レポート (3 点×12+7 点×2=50 点)、講義内試験 (50 点)

テキスト

- ・参考書：プロスポーツクラブのマネジメント【第 3 版】
- ・著者名：武藤泰明
- ・出版社名：東洋経済新報社
- ・出版年 (ISBN)：978-4-492-50323-2